

“人権の花” トーク&コンサート

～金子みすゞの 心とともに～



写真提供：金子みすゞ著作権保存会

【第1部】 13:30～

「人権の花」活動の発表 感謝状の贈呈

【第2部】 14:00～

矢崎節夫 講演会

みんなちがって、みんないい。
～みすゞさんのうれしいまなざし～

ちひろ コンサート

金子みすゞ 愛のメッセージ

2019 **11/24日** 開場 13:00

箕輪町文化センターホール

**入場
無料**

全席指定

※10月8日(火)10:00から文化センターにて入場券を配布します。

矢崎節夫

(童謡詩人・
金子みすゞ記念館館長)

ちひろ

(シンガーソングライター・
ラジオパーソナリティ)

《主催》 伊那地域人権啓発活動ネットワーク協議会
《共催》 箕輪町 箕輪町教育委員会 箕輪町人権尊重のまちづくり審議会 伊那人権擁護委員協議会
《後援》 みのわ新聞社 長野日報社 信濃毎日新聞社 伊那ケーブルテレビジョン

〔お問合せ先 箕輪町教育委員会文化スポーツ課 ☎0265-70-6601〕

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

詩の出版は「金子みすゞ童謡全集」
(JULA出版局)より

金子みすゞ

本名金子テル。明治36(1903)年、山口県大津郡仙崎村(今の長門市)に生まれる。大正末期から昭和の初期にかけて、すぐれた童謡詩を発表し、西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」とまで称賛されながら、昭和5(1930)年、26歳の若さでこの世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿が見つかり、没後50余年を経て、全集として出版された。平成15(2003)年4月には、みすゞ生誕100年を記念して、長門市立「金子みすゞ記念館」が開館。全国からみすゞファンが訪れ、感動を新たにしている。

プロフィール

やざき せつお
矢崎 節夫

童謡詩人・金子みすゞ記念館館長

1947年東京生まれ。学生時代より、童謡、童話の世界を志し、童謡詩人佐藤義美、まど・みちおに師事。1982年『ほしとそらのしたで』(フレーベル館)で第12回赤い鳥文学賞を受賞。自身の活動の傍ら、大学時代に出会った一編の詩に衝撃を受け、その作者である童謡詩人金子みすゞの作品を探し続け、16年ののち、ついに埋もれていた金子みすゞの遺稿を見つける。1984年に『金子みすゞ全集』(JULA出版局)を世に出し、以後その作品集の編集・出版に携わっている。

『童謡詩人金子みすゞの生涯』(JULA出版局)においては、1993年に日本児童文学学会賞を受賞。2014年長年にわたり「金子みすゞ甦り」に努めた業績と、童謡集『うずまきぎんが』(JULA出版局)が評価され、第13回童謡文化賞受賞。

ちひろ

シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ

山口県出身。金子みすゞの詩に作曲し歌い語る“メッセージシンガー”。

NHK「中国!ちゅーもく!ラジオYAMAGUTIC」<中国5県放送>のレギュラーを務め、NHK「ラジオ深夜便」にも出演。KRY山口放送ラジオ「ちひろDEブレイク」は放送開始から15年目(radiko.jpでも全国放送中)。

NHK横浜放送局の新番組ラジオ「横浜サウンド☆クルーズ“はま☆キラ!”」のテーマ曲「YOKOHAMA ORANGE」を作曲。小学校や高等学校の校歌、熊本県菊陽町の人権の歌「こころ」、CMソングなども制作。ちひろ作曲の「山口市民の歌」が山口市、「一寸法師」が長門市にてそれぞれ防災無線で各市内全域に放送中。